

「もんじゅ」の廃炉について

2016年12月21日

一般社団法人 日本原子力産業協会
理事長 高橋 明男

本日開催された原子力関係閣僚会議において、高速増殖原型炉「もんじゅ」の廃炉が正式に決まった。

ウランの需給の観点からは高速炉の実用化が今すぐに必要という状況ではないが、エネルギー資源の少ない日本にとって、また技術立国を目指す日本にとって、将来に備えて高速炉の技術開発を継続していくことは大変重要である。

今後の開発にあたっては、「もんじゅ」の経験と反省を活かすとともに、国際的な協力を積極的に進める事を期待したい。

また、国に対しては、地元のご意見に真摯に耳を傾け、今回の決定に至った経緯や今後の計画について丁寧に説明し、理解を得られるよう努めていただきたい。

以上